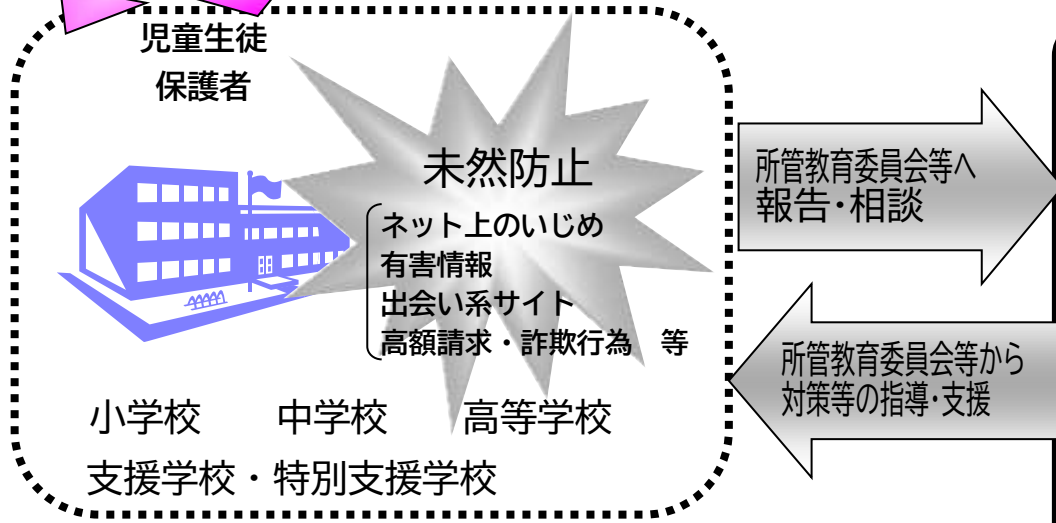




大阪の子どもを守るサイバーネットワーク

—子どもを被害者にも加害者にもしないために—



現状と課題

スマートフォン等の利用状況とSNS上の被害体験等の現状

①大阪府内の携帯電話・スマートフォンの所持率 (うちスマートフォン所持率)

小学生：56.9% (26.8%) 中学生：92.9% (86.7%) 高校生：98.5% (95.7%)

②大阪府内の一日1時間以上のインターネット使用状況 (うち3時間以上)

平日、インターネットでSNS、動画、ゲーム等を1時間以上すると回答：
小学生：52.8% (47.2%) 中学生：88.0% (12%) 高校生：93.5% (6.5%)

③会ったことがない人とネット上でやりとりをしたことがある

「一度はある」「少しある」「何度もある」と回答：
小学4～6年：27.9% 中学生：52.5% 高校生：61.9%

④全国児童のSNS被害状況：

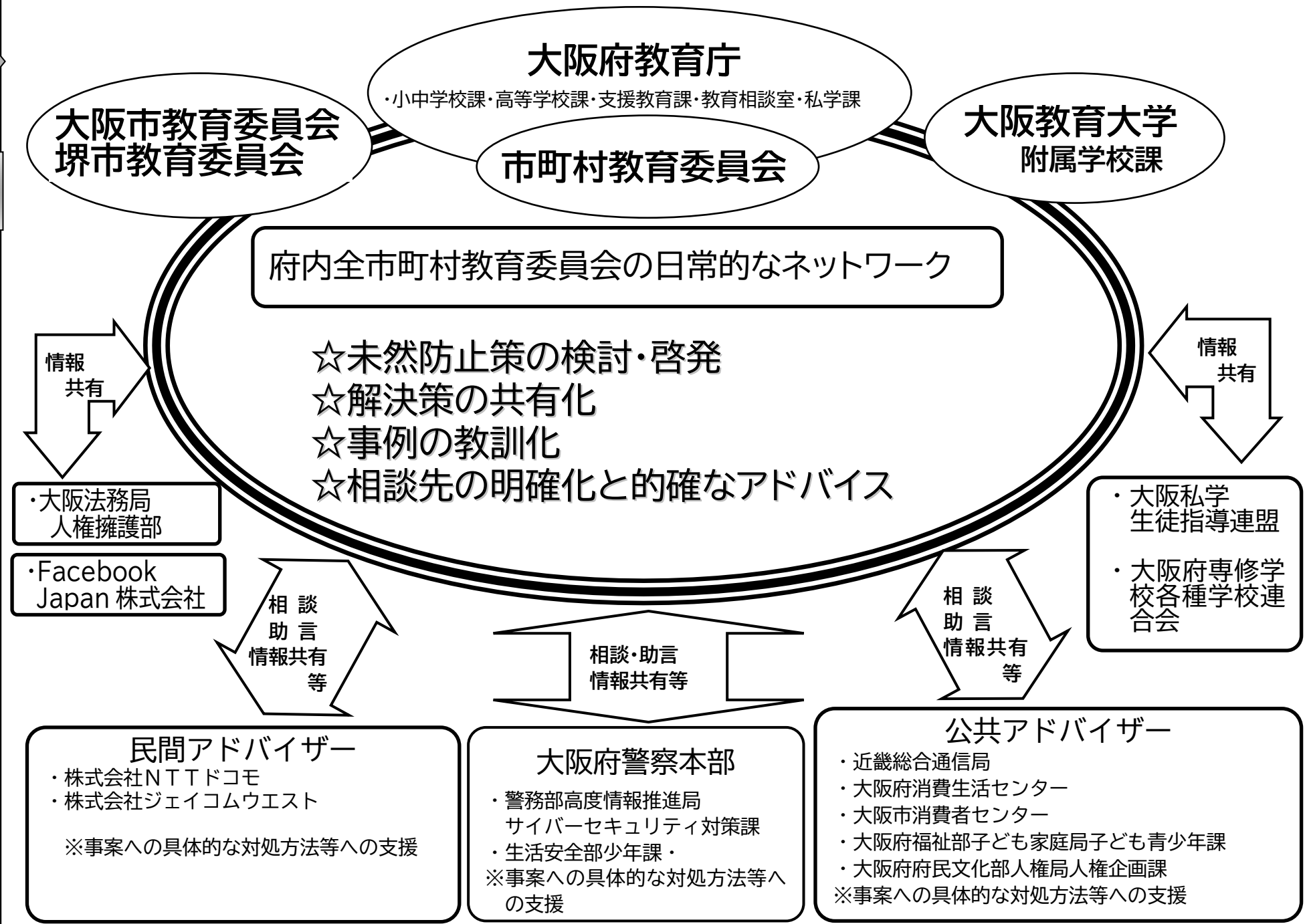
被害件数は、H24の1076件から令和3年は1812件と1.7倍に増加。また、自撮り画像の被害件数は、(H24)207件から(R03)514件とこの10年で2.5倍と増加傾向にある。SNSで被害にあった子どもたちの87.7%が、被害時にフィルタリングをしていない状況であった。

まとめ

- ★小学校段階での効果的な指導や周知・啓発の工夫
- ★「5つの約束」等、児童生徒への指導と家庭のルールづくりについて保護者への啓発
- ★スマホ特有のアプリ、接続方法と危険性について保護者への啓発・教員への周知
- ★被害について相談しやすい環境づくりと家庭との連絡・相談体制づくり

[①-③大阪マアケット 2021 調査 ④警視庁 R3 子供の性被害の状況調査 より]

教育委員会と警察・関係機関の連携



大阪の子どもを守るサイバーネットワーク連絡会議

- ☆携帯電話やインターネットを介して生起する事案に対して、課題解決に資するための情報交換等を行う。
- ・実態把握についての情報交換、事例検討・未然防止に向けた学校や保護者に対する情報提供および啓発
 - ・家庭におけるルール作りを促進するための方策の検討・フィルタリングソフト活用の啓発 等